

ほうきさん

2019年 3月



棕本673 存仁寺

2月23日箱根より加藤善規さん提供

— 仏さまからのおさがりをいただく —

われらは
善人にもあらず
賢人にもあらず
賢人にもあらず
賢人にもあらず

(『唯信鈔文意』)

これが今聞いてすぐに身につくものでもない、お香の薰りが
年々もかけて衣に付くように、み教えが何年もかけて全身の毛
穴から私に染みわたつてくる。

お仏壇がある生活は、「おかげさま」を知り、おかげさまにお
札申すことのできる生活だと思う。すべていただきもの、さす
かりもの、たくさんのご縁はたらきによつて今ここにある。淨
土真宗のお育てをいただくとはその心を私が学ばせていただく
こと。

本来ならば、私のもとに来るまでの工程のすべての人にお札
を言うことが筋であろう。でもそれはできない。誰が携わつて
いたのか正確に知ることすらできない。だから代表して仏さま
にお札を申すことしかできない。

お仏壇がある生活は、「おかげさま」を知り、おかげさまにお
札申すことのできる生活だと思う。すべていただきもの、さす
かりもの、たくさんのご縁はたらきによつて今ここにある。淨
土真宗のお育てをいただくとはその心を私が学ばせていただく
こと。

人からのいただきものはまず仏さまにおそなえするというの
は、家族の習慣だ。お寺に限らず、昔の家庭はどこもそなつたの
ではないだろうか。お仏壇が家庭の中心、仏さま、仏法が
家庭の中心という生活。

自分で買ったもの、買つてもらつたもの、人からいただいた
もの、私の手元に来てしまえば私のものである。でも、その物
の向こう側には何があるだろうか。

スースであれば、生地を作る人、仕立てる人、運ぶ人、販売
する人、たくさんのはたらきがあつて今私のもとに届いてくる。
それは手袋でもそう、野菜でも、お肉でも、お米でも・・・あ
りとあらゆるものは、数えきれないほどのたくさんのはたらき
のおかげさまで、今、私のもとにある。妹自身もそれを自然と
感じ取つたのかも知れない。

お夕事(夕方のおつとめ)の時に、ふと、横を見ると、見慣れない紙袋が。聞けば新生活を期に、母から買つてもらつた妹のスースだそうだ。買つてもらつたものをおそなえすることに新鮮さを感じた。

われらは 善人にもあらず 賢人にもあらず
三月のことばは、親鸞聖人の『唯信鈔文意』というご著書のなかにあります。

わずかばかりの知識を持つているといつても、仏さまの智慧に比べると、何ほどの価値もありません。仏智の前では、ひとりの愚者に過ぎないのがお互いです。そのような凡夫・悪人を救いの目当てとされた阿弥陀仏に対し、自らの智慧に頼り、自らの智慧を誇ることは、むしろ背信行為であつて、仏智の前では、ただ愚者であり、凡夫・悪人であるのが私という存在です。

しかし私たちは、ついつい善人の側に立とうとします。「水戸黄門」では、必ずと言つていい程、悪代官と悪徳商人が登場します。「こんな悪い奴は早くこらしめてやれ」と私たちの心が善人の側に立つてゐるということですね。テレビのニュースを見ていると、毎日のように出悪な犯罪が報道されます。そんなとき「こんな犯人は厳罰にしろ」と裁くのが私たちです。しかし、同じ縁に触れたら同じことをしたかも知れないという、自分自身の怖さに気づいているでしょうか。

法然聖人はまた「淨土宗の人は愚者になりて往生す」と述べられています。私たちはこの「愚者になる」ということが難しいのかもしれません。すぐに善人になりたがる習性があるからです。ですが私は、そんなに難しい事でもないようになっています。ですが私は、そんなに難しい事でもないようになっています。それはつねに仏さまとお話をすればよいと思うからです。仏さまの智慧に出遇つたとき、愚者という私の本当の姿が知らされます。淨土真宗ではそれを「機の深信」と称しています。それは同時に、「法の深信」という、ご本願によつて救われていくよろこびに支えられた身でもあるのです。

この「愚者」の自覚こそは「機の深信」という厳格な自己反省です。そしてそれは「法の深信」というよろこびに支えられた歩みでもあるのです。これこそは、仏さまの智慧に出遇つたものが恵まれる、尊い生き方です。 (月々のことばより)

3月の行事

- 1日(金) 6時30分 おあさじ
3日(日) 17時30分 語ろう会
7日(木) 13時30分 コーラス
9日(土) 17時～19時 お寺ヨガ
14日(木) 13時30分 無量寿会追悼法要
16日(土) 6時30分 おあさじ
19時 仏教壮大年会臨時総会
春彼岸 18日～24日



4月の行事

- 1日(月) 6時30分 おあさじ
4日(木) 10時 コーラス
6日(土) 10時 鈴鹿組はなまつり 光明寺様
8日(月) 13時30分 無量寿会はなまつり・総会
16日(火) 6時30分 おあさじ
29日(日)・30日(月) 13時30分



春季永代経法要

17時より世話方会

宗派・教区・鈴鹿組関連 3月

- 3日(日) 鈴鹿組仏教壮大年会役員会 15時 真福寺
17日(日) 第21期鈴鹿組連続研修会 9時 存仁寺
「お釈迦さまの仏教」
19日(月) 教区「御同朋をめざす運動」門信徒研修会
23日(土) 鈴鹿組門徒総代会総会 芸濃庁舎 14時
24日(日) 法敬寺住職・継職奉告法要 10時
鈴鹿組二十五日講法要 14時 法敬寺
法話 桑名組開光寺 大竹輝道さん
26日(火) 教区少年連盟本山参拝
30日(土) 鈴鹿組仏教壮大年会総会・研修会 9時 真福寺
鈴鹿組門徒推進員連絡協議会総会
14時 専念寺
31日(日) 鈴鹿組開信会研修会・総会
10時 芸濃町光安寺にて

3月 11日 14時46分 東日本大震災から8年
哀悼の鐘 を撞きましょう

お寺ヨガ 3月のテーマは・・・

『冬～春の3大不調対策』冬から春への変わり目は、気温の変動により自律神経が乱れやすい時期。
『肩こり』『花粉症』『冷え性』などの不調が起りがちなので、優しいヨガのポーズで心身を目覚めさせていきます。また春を迎える準備として『安眠効果』『気力向上』にオススメのツボもお届けします。



2月 3日(日) 鈴鹿組門徒推進員連絡協議会(井関照代会長) 研修会が多数参加の中開催されました。ご講師は大阪市小林顕英さん。「私の葬儀を考える」と題してご法話頂きました。

お念仏のひろば ご案内

毎月 17日午前・午後 津市丸の内正覚寺様

「紫雲会」3月 17日(日) 807回



『よろこびの種をまこう』

奈良・圓光寺 和氣秀剛師(聴講費 1000円)

正覚寺様永代経法要

- 3月 30日(土) 午後1時30分 『無量寿経作法』
午後6時30分 『仏説觀無量寿経』
3月 31日(日) 午後1時30分 『仏説阿弥陀経』
法題「無常に聞く」
講師 前中央仏教学院院長 北畠晃融氏



存仁寺春季永代経法要

4月 29日(日) 午後1時30分 おつとめ

4月 30日(月) 午後1時30分 おつとめ

法題 「つねにわが身をてらすなり」

法話 四日市 正覚寺 内田正海師

亡き方を偲ぶ私に、すでに仏さまとなった亡き方が、いつでもこの私に願いをかけて下さってあります。仏さまの願いを聴き、出遇わせていただきましょう



2月 13日(水) 仏教婦人会名古屋別院 報恩講参拝に存仁寺より10名が、ご縁に合わせていただきました。ご講師は柏市西方寺の西原裕治さん。都市開教での出会いなどを通じて、阿弥陀さまのいつくしみの世界に気づかせていただくこと、あなたの生き方は問わない、そのままの私が攝取不捨の中にあることを深く味わっていますと、聞かせていただきました。